

歯を失いお困りの方、また入れ歯を入れたが上手く噛めない方がおられるのではないかと思います。口腔インプラント治療は失われた歯の代わりとして審美的、機能的回復することができる治療法の一つです。この治療法は従来のブリッジや入れ歯に比較して自分の残っている歯に負担をかけることなく、より本来の歯に近い状態で長期間の安定した回復することができる治療です。噛むことその刺激は脳に伝達され、呆け防止にもつながるといわれております。このことは患者さんの健康維持、増進にもつながります。日本人の平均寿命が世界一であっても健康でなければなりません。大事なものは健康寿命です。



インプラント治療には骨の中にインプラント体を埋め込み手術を行うため、全身の状態の把握、口腔外科手術、入れ歯やブリッジを作る技術、また解剖学的な知識など通常の歯科治療以上の専門的なまた高度な複合的な知識や治療技術が求められます。患者さんの状態により、口腔インプラント治療が難しい方もおられます。今日、遺憾なことですがインプラント治療について幾つかのトラブルが報道されていることも事実です。このようなことから日本口腔インプラント学会では学会会員の一人ひとりの知識、技術の向上を目的に専門医制度を立ち上げ、研修施設での研修、学会主催の研修会、会員歴、筆記試験、ケースプレゼンテーション試験、口頭試問など厳しい条件をクリアーした方を専門医として育成しております。現在、公益社団法人日本口腔インプラント学会の会員は全国で14,000余名(歯科医師は11,000人)おりますが、現時点で専門医は約1,000名です。公益社団法人日本口腔インプラント学会は卒後の教育のみではなく、歯科大学での教育カリキュラム案の作成や基礎実習の導入、また患者さんへの安心・安全な医療を目指し活動を行っております。何かインプラント治療に関してのご質問等がありましたら学会事務局にご連絡頂くか、または学会のホームページに掲載されております相談窓口の専門医の先生方、専門医の方々に連絡頂きたいと思っております。相談窓口では皆様からのご質問にお答えします。本学会は国民の皆様方への適切で安全・安心の医療を提供する学術団体として活動しております。